令和６年

議会の概要

沼田市議会事務局

目　　　次

Ⅰ　沼田市のあらまし　…………………………………………………　1

Ⅱ　議会の構成等

（１）　議員定数　……………………………………………　2
（２）　議員年齢別構成　…………………………………　2
（３）　党派別構成　………………………………………　2
（４）　会派別構成　………………………………………　3
（５）　在職期間別構成　…………………………………　3
（６）　議長及び副議長　…………………………………　3
（７）　各種委員会等　……………………………………　3
（８）　議員報酬　……………………………………………　4
（９）　政務活動費の支給状況　………………………　5
（10）　事務局職員の構成　………………………………　5
（11）　群馬県市議会議長会歴代会長　………………　5

Ⅲ　議会の実績

（１）　議会の招集及び審議状況　……………………　7
（２）　付議事件の状況　…………………………………　7
（３）　選挙及び推薦の状況　……………………………　7
（４）　議員等提出議案・動議・決議・意見書の状況　………　7
（５）　請願の処理状況　…………………………………　8
（６）　陳情の処理状況　…………………………………　8
（７）　一般質問者数　……………………………………　8
（８）　通告による一般質問者　…………………………　9
（９）　傍聴人受付数　……………………………………　１５
（10）　常任委員会・特別委員会付託件数及び開催状況　……　１５
（11）　委員協議会開催状況　……………………………　１５
（12）　議会運営委員会開催状況　………………………　１５
（13）　行政調査及び研修会等実施状況　………………　１５
（14）　行政視察来沼状況　………………………………　１７
（15）　全員協議会開催状況　……………………………　１７
（16）　議会だより編集委員会開催状況　………………　１７
（17）　その他各委員会開催状況　………………………　１７
（18）　広報広聴関連活動開催状況　……………………　１７
（19）　沼田市議会インターネット中継の状況　………………　１８

Ⅰ　沼田市のあらまし

沼田市は、群馬県の北部に位置し、赤城山や武尊山など日本百名山に挙げられる山々に四方を囲まれた、東西に長く、標高は 250 メートルから 2,000 メートル余りに及ぶ起伏に富んだ地形で、総面積 443.46 平方キロメートル、人口約 44,000 人の自然豊かなまちです。

市街地は、市域を南北に貫流する利根川とその支流の片品川・薄根川により形成された日本一の河岸段丘上に広がっています。このような地勢は、地域における産業や生活面などに様々な特色を生み出していますが、「玉原（たんばら）高原」や天然記念物及び名勝「吹割（ふきわれ）の滝」など、スケールの大きい自然環境は、豊富な温泉群やリゾート施設等と相まって､我が国でも有数の観光地としての資質を有しています。

古くは、天文元年（1532 年）に沼田氏が居城して以来、明治に至る 300 有余年の間、真田・本多・黒田・土岐氏の城下町として栄えました。明治以後、北毛の交通の要衝として、また、利根沼田圏域の商業の中心として開け、大正 13 年（1924 年）の上越線の開通とともに、農林産物の集散地として一層の発展を見ました。

戦後は、森林資源を背景に木材関係の工場が多くなり、次第に産業の基盤を整えてきました。昭和 29 年 4 月、沼田町を中心に利南村、池田村、薄根村、川田村の 1 町 4 カ村が合併して市制が施行され、平成 17 年 2 月 13 日には利根郡白沢村、同郡利根村と合併し現在に至っており、本年、市制施行 70 周年並びに水道事業 100 周年を迎えました。

市制施行後も、モータリゼーションに対応する三国トンネル、金精峠、志賀高原ルートなどの開通、さらには昭和 57 年の上越新幹線、昭和 60 年の関越自動車道新潟線の開通により、本市は交通の要衝として、ますます重要な役割を占めるようになりました。

そして現在は、利根沼田広域市町村圏（昭和 44 年 9 月指定）の中で、行政、商業、情報その他の生活サービス機能の集積する中核都市として、また、首都圏近郊の観光リゾート地としての役割を担っています。

また、姉妹都市として、静岡県下田市（昭和 41 年 5 月提携）およびドイツ連邦共和国バイエルン州フュッセン市（平成 7 年 9 月提携）と交流を行っています。

【沼田市へのアクセス】

東京方面から

● 車では

練馬 I.C＝<関越自動車道>＝沼田 I.C　　【1時間 30 分】

● 電車では

■上越新幹線利用の場合

東京駅＝<上越新幹線>＝上毛高原駅＝<バス>＝沼田駅

【1時間 40 分】

■ＪＲ高崎線・上越線（特急）利用の場合

上野駅＝<JR 高崎線>＝高崎駅＝<JR 上越線>＝沼田駅

【2時間】

※所要時間にのりかえ時間は含まれていません。

Ⅱ　議会の構成等

（１）議員定数（令和７年１月１日現在）

条例定数	現 員 数	任　　期
１８ 人	１８ 人	令和５年４月３０日～令和９年４月２９日

※定数の変遷			
	昭和29年4月 1日	100人	※町村合併による
	昭和30年3月	30人	
	昭和58年4月	28人	
	昭和62年4月	26人	
	平成 7年4月	25人	
	平成11年4月	24人	
	平成15年4月	22人	
	平成17年2月13日	46人	※市村合併による
	平成19年4月	27人	
	平成23年4月	22人	
	平成27年4月	20人	
	令和 5年4月	18人	

（２）議員年齢別構成（令和７年１月１日現在）

年　　齢	人　　員
７０歳以上 ８０歳未満	３
６０歳以上 ７０歳未満	４
５０歳以上 ６０歳未満	６
４０歳以上 ５０歳未満	３
３０歳以上 ４０歳未満	２
２５歳以上 ３０歳未満	０
計	１８

平均年齢：５７．０歳

（３）党派別構成（公職選挙法に基づく届出による）

党　　派	人　　員
日 本 共 産 党	１ 人
参 政 党	１
公 明 党	１
無 所 属	１５
計	１８

（４）会派別構成　（届出順に記載）

会　派	人　員
新　政　未　来　沼　田	３
沼　田　創　生　会	７
無　会　派	８
計	１８

（５）在職期間別構成

期　間	人　員
１０　期	１　人
９　期	０
８　期	０
７　期	０
６　期	２
５　期	０
４　期	１
３　期	６
２　期	２
１　期	６
計	１８

（６）議長及び副議長（令和５年５月９日就任）

職　名	氏　名	任　期
議　長	中 村 浩 二	２年（申し合わせ）
副 議 長	井 上　弘	２年（申し合わせ）

（７）各種委員会等　〔◎：委員長　○：副委員長〕

名　称	委　員　氏　名	任　期
総務文教常任委員会 （定数６　現員６）	◎桑 原 敏 彦　○小野塚 正樹 今 成 敦 子　高 柳 勝 巳 大 島 崇 行　中 村 浩 二	２年
民生福祉常任委員会 （定数６　現員６）	◎茂 木 清 七　○星 野 妙 子 鈴 木　誠　齋 藤 育 子 井 上　弘　戸 部　博	２年
経済建設常任委員会 （定数６　現員６）	◎山 宮 敏 夫　○大 東 宣 之 齋 藤　智　相 澤 宗 利 木 内 修 一　野 村 洋 一	２年

名　称	委　員　氏　名	任　期
議会運営委員会 （定数８　現員８）	◎野村洋一　○高柳勝巳 山宮敏夫　木内修一 小野塚正樹　大東宣之 茂木清七　桑原敏彦	２年
議会だより編集委員会	◎星野妙子　○小野塚正樹　○鈴木　誠 齋藤　智　今成敦子　山宮敏夫 高柳勝巳　齋藤育子　大東宣之 大東宣之　井上　弘	２年
監査委員	戸部　博	議員の任期 (申し合わせ２年)
利根沼田広域市町村圏振興整備組合議会議員	中村浩二　井上　弘　桑原敏彦	議員の任期 (申し合わせ２年)
沼田市外二箇村清掃施設組合議会議員	中村浩二　井上　弘　茂木清七 星野妙子　戸部　博	議員の任期 (申し合わせ２年)
利根東部衛生施設組合議会議員	中村浩二　茂木清七　鈴木　誠 齋藤育子　井上　弘	議員の任期 (申し合わせ２年)
利根沼田学校組合議会議員	中村浩二	議員の任期 (申し合わせ２年)
群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員	中村浩二	議員の任期 (申し合わせ２年)

（８）議員報酬　（円）

年　次	議　長	副議長	議　員	備　考
昭和４９年	120,000	105,000	98,000	昭和49.12. 1
昭和５１年	165,000	140,000	130,000	昭和51.12. 1
昭和５２年	195,000	165,000	155,000	昭和52.12. 1
昭和５５年	220,000	185,000	175,000	昭和55. 4. 1
昭和５７年	240,000	205,000	195,000	昭和57. 4. 1
昭和６０年	265,000	225,000	215,000	昭和60. 1. 1
昭和６３年	300,000	260,000	250,000	昭和63. 1. 1
平成 ２年	350,000	310,000	290,000	平成 2. 4. 1
平成 ４年	400,000	350,000	330,000	平成 4. 4. 1
平成 ８年	440,000	370,000	350,000	平成 8. 4. 1
平成１６年	426,000	359,000	339,000	平成16. 4. 1
平成１７年	426,000	359,000	旧沼田市 339,000 白沢町 147,000 利根町 190,000	平成17. 2.13

年　次	議　　長	副 議 長	議　　員	備　　考
平成１９年	426,000	359,000	339,000	平成19. 4. 1
平成２０年	383,000	330,000	322,000	平成20. 4. 1 （附則により）
平成２５年	374,000	323,000	315,000	平成25. 7. 1 （特例条例により）
平成２６年	383,000	330,000	322,000	平成26. 4. 1 （附則により）
平成２７年	426,000	359,000	339,000	平成27. 4.30
令和　２年	383,000	323,000	305,000	令和 2. 7. 1 ～令和 3. 3.31 （附則により）
令和　３年	426,000	359,000	339,000	令和 3. 4. 1

（９）政務活動費の支給状況

施 行 日	交付額(議員１人あたり)	備　　　　考
平成13. 4. 1	年額 180,000円	会派（所属議員が１人の場合を含む）に対して交付する。
平成15. 6.27	年額 180,000円	会派（所属議員が２人以上）に対して交付する。
平成17. 2.13	交 付 し な い	「市町村の合併の特例に関する法律」に規定する議会の議員の在任に関する特例期間適用中に限り、交付しない。
平成19. 4. 1	年額 150,000円	会派（所属議員が２人以上）に対して交付する。(附則により、平成23年3月31日までの間とする。)
平成23. 7. 1	年額 120,000円	会派（所属議員が２人以上）及び会派に所属していない議員に対して交付する。

（１０）事務局職員の構成

事務局長（１）
- 庶務係（２）　次長兼係長１、副主査１
- 議事係（２）　係長１、主査１

（１１）群馬県市議会議長会長歴任者

氏　　名	在 任 期 間
生　方　高　光	昭和43. 5　　～ 昭和44. 5
金　谷　六　郎	昭和53. 4.10 ～ 昭和54. 4.29
深　代　栄　三	昭和63. 4.21 ～ 平成元. 4.19

高　橋　襄　典	平成10. 4.16 ～ 平成11. 5.11
須　田　清　七	平成11. 5.11 ～ 平成11. 5.26
金　井　康　夫	平成20. 4.17 ～ 平成21. 4.16
野　村　洋　一	令和 2. 4.24 ～ 令和 3. 4.22

Ⅲ　議会の実績

（令和６年実績）

（１）議会の招集及び審議状況

招集月日	議　　会	会　　期	開議日数	付議事件	１日平均出席議員
２月２７日	第１回定例会	２１日	４日	４３件	１６．５人
６月　４日	第２回定例会	１１	５	２３	１８．０
８月２７日	第３回定例会	２２	５	３８	１７．６
１２月　３日	第４回定例会	１４	５	１７	１６．６

（２）付議事件の状況　（件）

区分		付議件数	委員会付託	結果：原案可決	修正可決	否決	認定	同意	承認	終了	異議なし	採択	一部採択	趣旨採択	不採択	審議未了	継続審議
議案	条　例	31	5	31													
議案	予　算	32	8	32													
議案	決　算	4	4				4										
議案	人　事	2						2									
議案	意見書	1		1													
議案	決　議	0															
議案	その他	15		15													
報　告		16							12	4							
諮　問		1									1						
請　願		7	7									2		2	3		
選　挙		0															
推　薦		0															
その他		12									12						
計		121	24	79			4	2	12	4	13	2		2	3		

（３）選挙及び推薦の状況

《第３回定例会》　・人権擁護委員の推薦

（４）議員等提出議案・動議・決議・意見書の状況

○　議員等提出議案　･････････なし

○　動　　議　･････････なし

○　決　　議　･････････なし

○　意 見 書

議案番号	件　　　　　　　　　　名	議決年月日	提　出　先
46号	学校給食費無償化のため財政措置等の支援を求める意見書案について	6.6.14	群馬県知事

（5）請願の処理状況

請願	件　　　　　　　　　　名	付託年月日	付託委員会	議決年月日
1号	健康保険証の存続を求める請願書	6. 2.27	民生福祉	6. 3.18 不採択
2号	国に対し「適格請求書保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書」を送付することを求める請願書	6. 6. 4	総務文教	6. 6.14 不採択
3号	高齢運転者への「後付け急発進抑制装置」購入に補助を求める請願書	6. 8.27	総務文教	6. 9.17 不採択
4号	戸神山正面登山口（戸神町側）駐車場設置に関する請願書	6.12. 3	経済建設	6.12.16 採択
5号	ケア労働者の賃上げと大幅増員、医療・介護施設への支援拡充を求める請願書	6.12. 3	民生福祉	6.12.16 趣旨採択
6号	「食料自給率向上自治体宣言」を求める請願	6.12. 3	経済建設	6.12.16 採択
7号	小中学校の大規模改造（空調（冷暖房設備）整備）事業の促進に関する意見書の提出を求める請願書	6.12. 3	総務文教	6.12.16 趣旨採択

（6）陳情の処理状況　（件）

受理件数	処　理　結　果						
	採　択	趣旨採択	不採択	継続審査	審査未了	取り下げ	配　付
10		2	2				6

（7）一般質問者数

議　　会	人　　数
第１回定例会	６人
第２回定例会	１１
第３回定例会	9
第４回定例会	6

（8）通告による一般質問者

◎第1回定例会（3月）

氏　　名	発　　言　　要　　旨	答弁者
山　宮　敏　夫	1　沼田市民が「こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち沼田について」 ア　地域コミュニティの取組みについて イ　伝統文化の伝承と歴史的文化遺産の保存と利活用について ウ　安全安心なまちづくりについて	市　長 教育長
桑　原　敏　彦	1　沼田市国土形成計画の実現について ア　関係人口の創出計画について イ　外国人材に選ばれる地域づくりについて	市　長
星　野　妙　子 （一問一答方式）	1　安全・安心な暮らしを守る沼田のまちづくり ア　利根町防災行政無線について イ　能登半島地震から学ぶ、沼田市の防災について 2　共生社会「誰にも優しい」まちづくり ア　ヘルプマークについて 3　未来の家族のための人生設計「プレコンセプションケア」 ア　子供を授かる前の正しい知識の啓発について 4　天空の城下町　真田の里沼田 ア　歴史・文化を活かしたまちづくり	市　長 教育長
齋　藤　　　智	1　こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまちづくりについて ア　ウェルビーイング向上に向けた取組について イ　市民の活動を応援することによる幸福度の向上について ウ　アニメとのコラボレーションによる幸福度の向上について	市　長
高　柳　勝　巳	1　スマートウエルネスの再強化について ア　健康づくりの現状と課題について イ　運動やスポーツとの連携について ウ　食を通じた健康づくりについて	市　長
大　東　宣　之	1　防災対策について ア　今後の取り組みについて 2　公共施設等総合管理計画について ア　進捗状況と今後の取組みについて 3　学校教育について ア　子どもに寄りそった学校運営について	市　長 教育長

◎第２回定例会（６月）

氏　　名	発　　言　　要　　旨	答弁者
小野塚　正　樹	１　沼田市にヒトを呼び込む取組みについて ア　鉄道を利用した観光集客の増加について イ　沼田市の景観を向上させることについて ２　沼田市地球温暖化対策実行計画について ア　車両移動により発生するＣＯ２の削減について ３　市民が幸せと健康を感じるまちづくりについて ア　スマートウエルネスの推進について イ　誰もが動物と共存できる社会について	市　長
桑　原　敏　彦	１　人口激減社会に対応できるまちづくりについて ア　二地域居住等による人の流れの創出について イ　若者の雇用創出に向けた稼げるまちづくりについて	市　長
茂　木　清　七	１　沼田市の基幹産業でもある第１次産業の今後について ア　物価高騰による収入減の対策について イ　気象災害による農産物の影響について ２　未来を担う子どもたちについて ア　障害のある子どもたちの教育の在り方について イ　子育て世代の医療体制について ３　沼田横塚産業団地について ア　企業誘致について ４　こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち　沼田 ア　障害のある人の生活の安定について	市　長 教育長
鈴　木　　誠	１　市民の生活の充実にむけた取り組みについて ア　災害発生時における具体的な対応策について イ　互助が生まれやすい拠点や仕組みづくりについて ウ　市民が利用しやすい公共施設のあり方について エ　総合的な諸課題解決に向けた組織づくりについて	市　長
齋　藤　　智	１　こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまちづくりについて ア　沼田横塚産業団地について イ　外国人について ウ　新型コロナワクチンについて エ　米飯給食について	市　長 教育長

氏　　名	発　　言　　要　　旨	答弁者
星　野　妙　子 （一問一答方式）	1　市政に生かす市政懇談会について ア　市民の声をどのように反映させていくのかについて 2　沼田の未来をどのように次世代へつなげていくのか ア　急速な人口減少に対応する少子化対策 3　生き生き長寿のまちづくり ア　超高齢化社会への対応 4　文化遺産を活用したまちづくり ア　完成した大正ロマンエリアの活用について	市　長 教育長
高　柳　勝　巳	1　利根沼田広域市町村圏振興整備組合が策定した利根沼田ごみ処理広域化基本構想について ア　基本的な考え方について構成団体の長としてどのように考えているか イ　住民説明会等で出された諸課題について候補地が所在する長としてどのように考えているか	市　長
大　東　宣　之	1　水道事業と料金の改定について ア　水道事業の状況と料金改定について 2　生活保護について ア　状況と今後の取り組みについて 3　学校の統合について ア　検討状況と今後の取り組みについて	市　長 教育長
井　上　　　弘	1　人口減少問題への取組 ア　社会増に向けた取組 イ　出生数増加に向けた取組 ウ　ＵＩＪターンの働く場の確保 2　教育環境の充実 ア　就学援助の充実	市　長 教育長
今　成　敦　子	1　公有財産の有効な利活用について ア　中央公民館跡地の有効な利活用について 2　姉妹都市下田市との交流事業について ア　海中熟成プロジェクトとの連携について 3　新型コロナウイルスワクチン接種について ア　ワクチン接種と健康被害の因果関係について	市　長
相　澤　宗　利	1　地域主体のまちづくりについて ア　市民協働の推進について イ　まちづくりの中心拠点整備について	市　長 教育長

◎第３回定例会（９月）

氏　　名	発　　言　　要　　旨	答弁者
山　宮　敏　夫	1　市民が住みやすさを感じるまちづくりについて 　ア　市民生活の現状とみらいへ繋ぐ活動について 　イ　企業誘致と市内企業の現状について 　ウ　安全安心なまちづくりについて	市　長
桑　原　敏　彦	1　包括的な新たな若者の支援体制について 　ア　社会的孤立を生まない自立支援について 　イ　困難を抱える若者の新たな就労支援について	市　長
齋　藤　　智	1　共生社会づくりについて 　ア　沼田市職員の障害者雇用について 2　予防接種について 　ア　ＨＰＶワクチンの接種について 3　観光とまちづくりについて 　ア　アニメツーリズムについて 4　森林文化都市について 　ア　森林文化都市と玉原高原について	市　長 教育長
星　野　妙　子 (一問一答方式)	1　「命」を守る災害時の備え 　ア　迅速な災害対応に役立つ事前の体制について 2　生涯学習、市民が学ぶ機会の環境整備 　ア　生涯学習団体・芸術文化団体の支援推進について 3　沼田の農地と農業を未来に繋げるために 　ア　就農促進と遊休地解消について	市　長 教育長
鈴　木　　誠	1　市民生活の充実に向けた取り組みについて 　ア　中心市街地街なか再生事業について 　イ　沼田市の財政状況について 　ウ　公共施設の有効利用と在り方について	市　長
木　内　修　一	1　異次元の少子化対策について 　ア　沼田市における少子化対策について 2　子供たちの教育環境について 　ア　小学校・中学校の統廃合について	市　長 教育長
井　上　　弘	1　環境を軸にしたまちづくり 　ア　環境保全型農業の推進 　イ　環境負荷の低減に配慮した持続可能な農業の普及促進	市　長

氏　　　名	発　　言　　要　　旨	答弁者
大　東　宣　之	1　改正地方自治法について ア　今後の対応について 2　住宅リフォーム助成について ア　住宅リフォーム助成についての対応について 3　多世代交流について ア　ふれあい福祉センター等の施設の活用について	市　長
高　柳　勝　巳	1　利根沼田広域市町村圏振興整備組合が策定した利根沼田ごみ処理広域化基本構想について ア　基本的な考え方について構成団体の長としてどのように考えているか 2　重要案件の進捗状況とその進め方について ア　水道事業について	市　長

◎第４回定例会（１２月）

氏　　　名	発　　言　　要　　旨	答弁者
小野塚　正　樹 （パネル使用）	1　観光政策について ア　外部要因による本市への影響予測と対応について イ　日本ロマンチック街道について ウ　本市のオーバーツーリズム対策について 2　経済政策について ア　電子地域通貨ｔｅｎｇｏｏの推進について 3　環境政策について ア　新たな分類の燃やせないごみについて イ　動物愛護について	市　長
桑　原　敏　彦	1　沼田市の森林と農地を活用した新たなビジョンについて ア　森林資源を活用した人材育成と新たな環境対策について イ　Ｊクレジット制度の導入による農業の活性化について	市　長

氏　　　名	発　　言　　要　　旨	答弁者
茂　木　清　七	1　こころ豊かに暮らし、しあわせを実感できるまち沼田について ア　災害時の危機管理体制について イ　障害のある人の生活の安定について ウ　沼田市土砂条例について 2　沼田市の基幹産業である第１次産業の今後について ア　物価高騰による農産物への影響について イ　環境に優しい持続可能な農林業経営について ウ　耕作放棄地に歯止めをかける対策について	市　長
大　東　宣　之	1　新年度予算編成について ア　新年度予算編成と市政の課題について 2　国民健康保険証の廃止とマイナ保険証について ア　現行の健康保険証廃止後の対応について 3　平和行政について ア　戦後・原爆投下８０年の取り組みについて	市　長 教育長
齋　藤　　　智	1　職員のキャリア設計について ア　職員のキャリア設計について 2　地域活性化について ア　ふるさと納税などの資金を活かした地域活性化について 3　沼田市のＰＲについて ア　沼田市の魅力発信について	市　長
星　野　妙　子 (一問一答方式)	1　だれもが快適に移動できる沼田のまちづくりについて ア　市民に寄り添った移動手段の確保について 2　沼田浄水場改築更新に伴う上水道料金の改定について ア　改築更新と料金改定に対する市民の理解と意見把握状況について 3　こんにゃく芋の販売価格大幅下落に対する緊急支援対策について ア　地場産業の主流をなす、こんにゃく芋生産農家の営農継続対策について 4　沼田城跡公園整備と沼田城について ア　課題と今後の取組について	市　長 教育長

（9）傍聴人受付数

議　　会	開議日数	男	女	計	1日平均傍聴人数
第1回定例会	4日	18人	10人	28人	7．0人
第2回定例会	5	43	41	84	16．8
第3回定例会	5	71	18	89	17．8
第4回定例会	5	14	3	17	3．4
計	19	146	72	218	11．5

（10）常任委員会・特別委員会付託件数及び開催状況

委　員　会　名	議案					請願	陳情	開会日数
	条例	予算	決算	その他	計			
総務文教常任委員会	件	件	件	件	件	3件	1件	11日
民生福祉常任委員会						2		11
経済建設常任委員会	1				1	2	3	10
予算審査特別委員会	5	8			13			7
決算審査特別委員会			4		4			7

（11）委員協議会開催状況

委　員　会　名	開催日数
総務文教委員協議会	3日
民生福祉委員協議会	2
経済建設委員協議会	2
計	7

（12）議会運営委員会開催状況

開催回数	会　期　中	閉　会　中	陳情審査件数	請願審査件数
6回	2回	4回	0件	0件

（１３）行政調査及び研修会等実施状況

対象者	期　日	実　施　地	内　　　容
民生福祉常任委員	１月２２日	大阪府大東市	総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）について
民生福祉常任委員	１月２３日	兵庫県明石市	おむつ無料配付「おむつ定期便」について
経済建設常任委員	７月　９日	甘楽町	景観保護及び活用の取組について （「甘楽町景観計画」及び「甘楽町歴史的風致維持向上計画」について）
民生福祉常任委員	７月１０日	管内	多機能型事業所「ＳＯＮＡＴＡＲＵＥ（ソナタリュー）」について
広報広聴準備委員	７月１６日	茨城県取手市	市立中学校との協働事業「議会を知り・未来を語る」の事業概要について
全　議　員	８月　９日	みどり市 グンエイホールＰＡＬ（笠懸野文化ホール）	群馬県市議会議長会議員研修会 演題　「議会におけるコンプライアンス」 講師　東京弁護士会 　　　弁護士　太田　雅幸　氏
全　議　員	１０月３１日	渋川市 プレヴェール渋川	渋川市議会・沼田市議会合同議員研修会 演題　「新・群馬県総合計画～２０４０年に向けた政策の方向性～」 講師　群馬県知事　山本　一太　氏
経済建設常任委員	１１月１２日	新潟県 南魚沼市	景観の形成及び保護に係る取組について
民生福祉常任委員	１１月１４日	神奈川県 横須賀市	エンディングプラン・サポート事業及びわたしの終活登録について

（１４）行政視察来沼状況

期　日	自治体名等	視　察　内　容
１月２４日	長野県豊丘村議会 有志議員	電子地域通貨「ｔｅｎｇｏｏ」について
１月２６日	島根県益田市議会 経済建設常任委員会	電子地域通貨事業の取組について
７月　３日	千葉県東金市議会 文教厚生常任委員会	学校給食費完全無償化事業について 学校給食センターについて
７月１８日	香川県東かがわ市議会 総務建設経済常任委員会	デジタル地域通貨の取組について
１０月１６日	愛媛県八幡浜市議会 総務産業委員会	電子地域通貨事業について

（１５）全員協議会開催状況

期　日	場　所	出席議員数	主　な　協　議　事　項
開催なし			

（１６）議会だより編集委員会開催状況

開催回数	議会だより発行回数	備　　考
１１回	４回	No.72、73、74、75

（１７）その他各委員会開催状況

委員会名	開催回数
委員協議会連合会	３回

（１８）広報広聴関連活動開催状況

期　日	実施主体	相手方	活動内容等
１０月１１日	民生福祉常任委員会	私立園長会	幼児教育・保育に関する意見交換
１１月１６日	議会・秘書課・教育委員会	市内児童・生徒	子ども議会

〔◎：委員長　○：副委員長〕

名　称	委　員　氏　名	開催回数
広報広聴準備委員会	◎高柳勝巳　○齋藤育子 今成敦子　星野妙子　山宮敏夫 相澤宗利　木内修一　大東宣之 井上　弘	６回

（１９）沼田市議会インターネット中継の状況

○　生中継

議　会	閲覧数
第１回定例会	883 件
第２回定例会	1,334
第３回定例会	1,090
第４回定例会	750
合　計	4,057

○　録画配信　※各月の月末に集計

集計月	閲覧数
令和６年　１月	221 件
２月	154
３月	386
４月	95
５月	108
６月	536
７月	184
８月	166
９月	422
１０月	139
１１月	102
１２月	375
合　計	2,888